

令和3年11月18日

資料提供

* 高野町、県伊都振興局同時提供

東京大学先端科学技術研究センター「高野山会議 2021」の開催について

この度、東京大学先端科学技術研究センター「先端アートデザイン分野」が中心となり、nature-centered の視点から 1200 年の未来を語る「高野山会議 2021」を下記のとおり開催する運びとなりました。本会議は今回初開催となります。

空海の曼荼羅の世界に満たされた高野山において、アートデザインと科学を結び、包摂的な社会を実現するために何ができるかを感性豊かにディスカッションする3日間です。

開催概要及びプログラムは別添のとおりとなりますので、是非取材いただきますようよろしくお願いいたします。

<日程> 令和3年11月26日(金)～28日(日)

<場所> 高野山真言宗総本山金剛峯寺(伊都郡高野町高野山132)
高野山大学(伊都郡高野町高野山385)

<主催> 東京大学先端科学技術研究センター
(共催: 和歌山県、高野町、高野山真言宗総本山金剛峯寺、高野山大学)

<参加規模> 50～60人 大学教員、共同研究企業、東京フィルハーモニー交響楽団、学生等

<主なプログラム>

26日(金) 13:30～15:00 開会式(金剛峯寺新別殿)
15:30～16:30 添田隆昭・高野山大学長によるオープニング講話(同上)

27日(土) 10:00～17:30 セッション(金剛峯寺講堂、奥殿)

28日(日) 10:00～12:00 セッション(高野山大学201大教室)
13:00～14:30 クラシックコンサート(高野山大学黎明館)
14:45～15:15 クロージング(同上)

期間中 高野山会議PRコーナー
@まちかどサロン縁(協力企業のポスターセッション、資料等)

* 詳細は別添資料をご参照ください。都合によりプログラムが変更になる可能性があります。

* オンラインでの聴講も可能です。詳しく別紙をご参照ください。

当日、取材・撮影を希望される場合は、11月24日(水)までに別紙様式にて高野町企画公室へご連絡ください。



<お問い合わせ先>

高野町企画公室 田輪、吉田 TEL 0736(56)2932 FAX 0736(56)3022

和歌山県企画総務課 杉本、新田、栗本 TEL 073(441)2331 FAX 073(422)1812



東京大学先端科学技術研究センターについて

2017年に発足30周年を迎えた先端科学技術研究センター（略称：先端研）は、「科学と技術とアートのハーモニーで人と社会をつなぎ、インクルーシブな社会を形にする」ことを使命としています。

最大の特色は研究者や研究分野の多様性にあり、理工系の先端研究から社会科学やバリアフリーという未来の社会システムに関わる研究まで、基礎から応用に至る多様な研究を積極的に推進しています。

また、東大附置研で唯一博士後期課程を有し、イノベーションを生み出す力を持った人材育成に取り組むとともに、企業研究者の再教育も積極的に行っています。

2021年1月にアートやデザイン領域と科学技術を融合させた新たな領域を研究する「先端アートデザイン分野」を設立。人本来の視座から感性を介して科学技術を見直し、持続的なインクルーシブ社会創造のための取組を行っています。

神崎 亮平 所長 プロフィール

東京大学先端科学技術研究センター所長。

専門は神経行動学。カイコガのフェロモン源探索行動の研究や、昆虫制御型ロボット（サイボーグ昆虫）、スーパーコンピュータによる大規模脳シミュレーションなどで知られる世界的な生物学者。

〈出身〉和歌山県高野口町（現・橋本市）

〈経歴〉

智辯学園高等学校を卒業後、1986年筑波大学大学院生物科学研究科博士課程を修了。アリゾナ大学神経生物学研究所博士研究員、筑波大学生物科学系助手、講師、助教授を経て、2003年同大学教授。2004年より東京大学大学院情報理工学系研究科教授、2006年より東京大学先端科学技術研究センター教授。2016年より東京大学先端科学技術研究センター所長。2019年ミラノ＝ピッコカ大学名誉学位。

〈受賞〉

日本比較生理生化学会学会賞、日本ロボット学会論文賞、日本神経回路学会最優秀研究賞、JSPS ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞、和歌山県文化賞、橋本市文化賞など多数。



【参考】

東京大学先端科学技術研究センターは、平成31年3月15日に和歌山県と、令和2年9月4日に高野町、金剛峯寺、高野山大学と連携協定を締結し、産業振興や教育等幅広い領域で交流を進めています。